

アスパラガス育苗管理

パイオニアエコサイエンス(株)

園芸種子部

松永

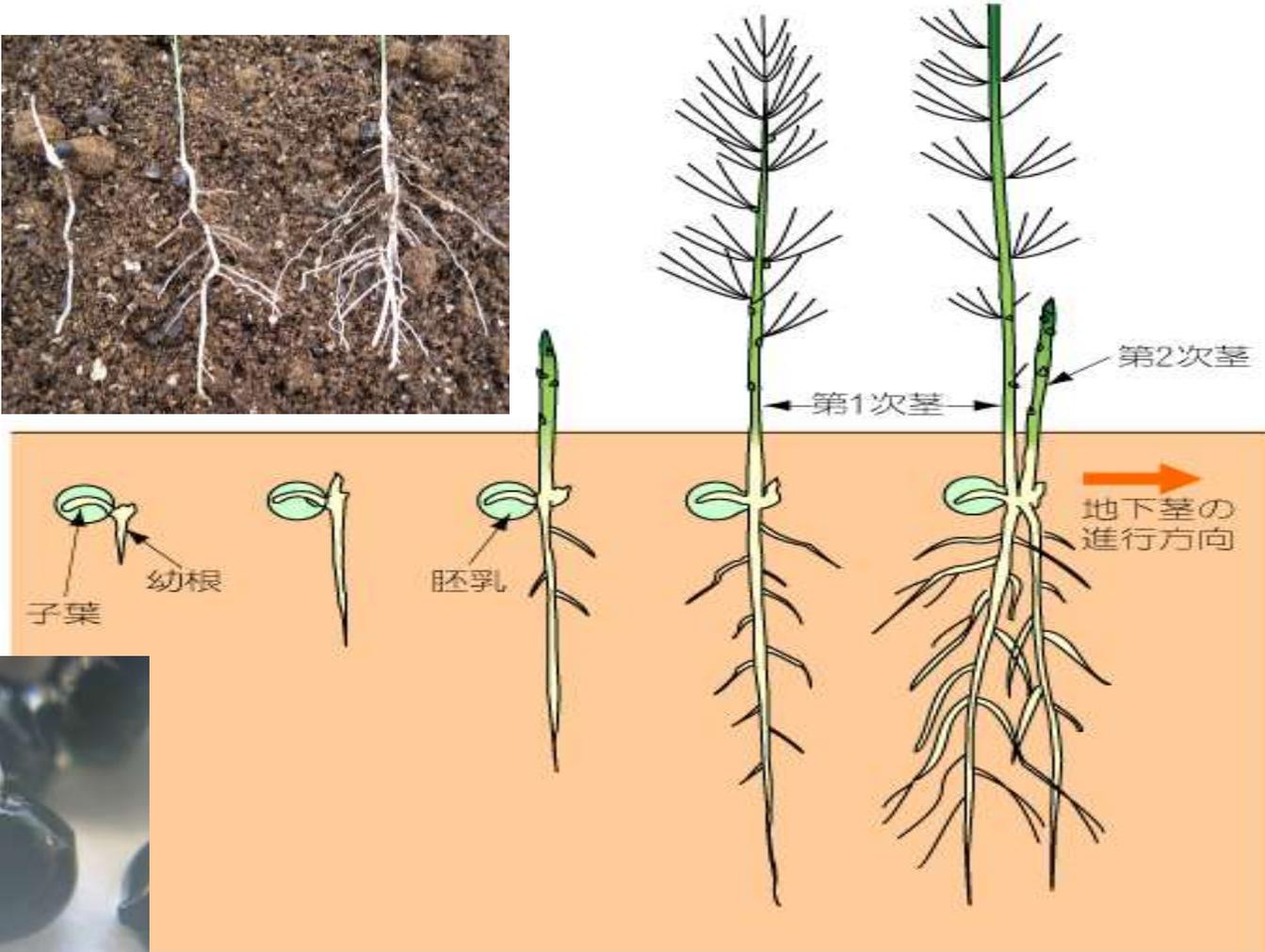
2021年1月20日

ZOOMセミナー用

はじめに

- 厳寒期の育苗管理は難しく大変
- 発芽温度の維持（28度前後）
- 発芽してからの日々の換気
- 地温の維持管理（15～20度程度）
- 3月に入ってからの日中と夜温の日較差が大！
- 育苗期間が100日以上と長い
- 経験も必要ですが、自信がない方は苗を購入！
- 大面積で個人の場合は必須な作業！

アスパラガスの発芽



播種準備



事前に播種床の地温を確保

発芽器



発芽条件

- 発芽温度 **28~30度**
- 水 分 **適度な水分保持**
- 培 土 **園芸培土**
- **注意事項** 培土で水持ちが良すぎるものは使用しない。
地温むらがないよう事前に地温を
チェックする

播種の実際

- すじ播き（鉢上げ）
- 72～50穴セル（ダイレクト定植）
- 200穴セル（鉢上げ）

基本はポットに鉢上げの大苗
寒冷地の栽培だと、定植時期が
5月のGW前後となるため。

発芽までの日数

- ・ 播種後、10～14日で発芽を揃える。
- ・ 発芽確認後、温度は徐々に下げる。
 - 最高気温：25度
 - 最低気温：18度（地温のほうが重要）

悪い事例（徒長苗）



鉢上げについて

- 鉢上のタイミング
1本展開時。
- ポットのサイズ
9cmポット
- 培土は
排水性が良い



鉢上げ



下には電熱線が引いてあり、地温確保。
最低地温 15度 地温は 20度一定が理想です。

換気はこまめに



群馬県での育苗状況。下には電熱線使用。

その他注意事項



温度計で地温、気温は確認する

タネの浸漬 自己責任で

- 浸けるなら28度前後の水温で。
酸素も必要。
- 水は毎日替えましょう。3日間のみ。

